

15 ダビデの賛歌

15:1 主よ。だれが、あなたの幕屋に宿るのでしょうか。だれが、あなたの聖なる山に住むのでしょうか。

15:2 正しく歩み、義を行ない、心の中の真実を語る人。

15:3 その人は、舌をもってそしらず、友人に悪を行なわず、隣人への非難を口にしない。

15:4 神に捨てられた人を、その目はさげすみ、主を恐れる者を尊ぶ。損になっても、立てた誓いは変えない。

15:5 金を貸しても利息を取らず、罪を犯さない人にそむいて、わいろを取らない。このように行なう人は、決してゆるがされない。

神と共にいることほど安心はありません。旧約においては巡礼者が神殿でこのように、式分でのやりとりをしたようです。それはまさに私たちの信仰のあり方でもあります。

ここにあるような生き方を守るなら、私たちは主と共に生きる者なのです。舌、つまりことばが良いものであるように気をつけて語りましょう。また権力や派手さを尊ぶのではなく、主を恐れる人を尊びましょう。そのような人の考えを尊重し、もしもそれが苦言であっても受け入れるようにしましょう。誓いを変えずに守りましょう。利息やわいろのような、自己中心な利益をとらないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

